

## 今年度の様々な連携について

山梨県立富士北稜高等学校

本校では毎年小学生やふじざくら支援学校と交流を行っております。小学生には特色ある総合学科の授業の一端を知ってもらうことで、小学生たちの望ましい職業観の育成やキャリアに対する考え方を学んでもらいます。高校生にとっては異年齢の子どもたちと過ごすことから社会性や他者への思いやりを学び、社会の一員としての自覚を促すことを目的としています。また、ふじざくら支援学校との交流では同年代の生徒さんとの交流からお互いを認め合う心を学びました

### 1 親子カルチャー教室（南都留地域教育推進連絡協議会共催）

今年度で23回目となる「親子カルチャー教室」は、毎年たくさんの児童のみなさんからの応募がある人気の事業となっております。夏季休業中に小学生4～6年生を対象として5つの系列が系列ならではのプログラムを開講し、小学生に体験してもらう取り組みです。高校生が「ミニ先生」として丁寧に指導し小学生と一緒に作業するにあたり、教える力やコミュニケーション能力を養えます。参加した小学生からは「とても分かりやすく集中して取り組めた」「作業が楽しかった」「初めて聞いたけどうまくできた」などの声が寄せられ、有意義な一日となりました。



## 2 ふじざくら支援学校との交流会

12月にふじざくら支援学校との交流会を行いました。今年度の交流では、本校の生徒がふじざくら支援学校を訪れました。本校のボランティア委員と生徒会役員の生徒が参加し、全て生徒主導により行われました。誰でも楽しめるボッチャを行い交流を通じて、障がいの有無に関係なく協力する楽しさや達成感を体験しました。また、ふじざくらの生徒には合唱を披露していただきました。

共生社会の価値を実感する機会となり、今後の成長につながる良い経験になりました。



次年度も引き続き、生徒の成長につながる交流活動をさらに充実させてまいります。本年度の取り組みにご協力いただいた関係機関の皆さまに心より感謝申し上げます。